

“Yuuai Medical Center” 友愛医療センター 地域連携室だより

Vol.48
2023年
9月



〒901-0224 豊見城市字与根50番地5
電話 (代表) 098-850-3811
(連携直通) 098-852-2575
FAX (連携直通) 098-852-2152

循環器内科・心臓血管外科医師による講演会を開催しました！

去る8月18日(金)に、「離島でつなぐ心臓病～より良い治療と医療連携～」と題し、ハイブリッド(現地開催+オンライン配信)講演会を行いました。

講演会場を石垣島と宮古島の2ヵ所に設けオンラインでつなぎ、石垣島の会場では大浜診療所院長 鈴木 光先生、宮古島の会場では沖縄県立宮古病院 循環器内科医長 藍原 和史先生を座長のもと、当院の循環器内科 嘉数部長、心臓血管外科 山内部長が下記のテーマでお話をしました。

◆かかりつけ医の先生方に知っていただきたい 心臓弁膜症の診断ポイント
友愛医療センター 循環器内科 部長 嘉数 真教 先生

◆地域で診る心臓弁膜症の低侵襲治療～紹介から検査・治療、術後のフォローアップまで～
友愛医療センター 心臓血管外科 部長 山内 昭彦 先生

嘉数先生からは、「視診・触診・聴診」を組み合わせることで、弁膜症の早期発見や診断に繋がること、心臓エコーが重症度評価には重要であることのお話がありました。また、クリニックで軽度～中等度ASをフォローして頂いている中で、**血圧管理(120～140/70～90mmHg)**がポイントになるとのことでした。ほか、当院でのTAVIの実績について報告がありました。

山内先生からは、主に弁膜症外来や低侵襲手術(MICSやロボット支援下手術)に関して講演がありました。当院の心臓弁膜症外来への紹介は、**AS疑いや心雑音が多く**、そのような患者さんには、**受診当日に採血・レントゲン・心臓エコー**を行って診断しており、“**当日診断を実現**”しているとお話がありました。

TAVI

: Transcatheter Aortic Valve Implantation

2021年7月3日～2023年7月30日

56例

平均年齢84.6歳

47例 9例



【成績】緊急開胸 0、独歩退院 52例、リハ転院 4例

(嘉数先生の資料より一部抜粋)

まとめ

- 心臓弁膜症は後期高齢者の約13%に存在するとされており、加齢とともに増加します。
- 診断・治療には心臓エコー検査が必要です。「重症」と診断された場合、症状の有無にかかわらず治療の検討を要します。
- 治療はカテーテル治療、もしくは開胸手術です。
- 早期社会復帰を可能とする低侵襲心臓外科手術治療(MICS: ミックス)という開胸手術があります。ロボット支援下の場合には、さらに術後創部痛が軽減されます。

(山内先生の資料より一部抜粋)

当院の心臓弁膜症外来は、「**心臓弁膜症及びその疑いのある患者さんが受診しやすい外来**」であることを目的としております。受診当日中に検査を実施し治療方針を判断し、患者さんにお伝えすることを目指しております。
無症状でも心雑音を認めるだけでも、どうぞお気軽に地域連携室へご相談下さい。

